

福田美術館・嵯峨嵐山文華館  
二館共通券を期間限定価格で提供する  
「2館でおトク！」キャンペーンの販売を12月16日より開始



福田美術館、嵯峨嵐山文華館（京都府右京区）は、近接する福田美術館と嵯峨嵐山文華館の二館の展示を一度に鑑賞できる「二館共通券」を期間限定で割引価格で提供する「2館でおトク！」キャンペーンを実施します。割引価格が適用されるのは 2024年12月16日（月）から 12月27日（金）までの12日間で、12月16日より両館の受付にて販売開始します。期間中、福田美術館では、世界初公開となる伊藤若冲の巻物「果蔬図巻」のほか、若冲の名作を一挙展示する「開館5周年記念 京都の嵐山に舞い降りた奇跡!! 伊藤若冲の激レアな巻物が世界初公開されるってマジ?!」、嵯峨嵐山文華館では、松尾芭蕉と与謝蕪村を中心に俳句と俳画の名画をそろえた「HaikuとHaiga — 芭蕉と蕪村、2人のカリスマー」を開催しています。

冬休みやクリスマスなど、様々なイベントが待ち受けるこの期間に、冬の嵐山でお得にアート鑑賞を楽しめる絶好の機会です。

「2館でおトク！」キャンペーン概要

キャンペーン名：2館でおトク！

販売期間：12月16日（月）～12月27日（金）

割引適用期間：12月16日（月）～27日（金）

内容：12月16日～27日の12日間に福田美術館もしくは嵯峨嵐山文華館へご来館の方を対象として割引価格で共通券を販売

販売価格：

- ・一般／大学生：1,900円（現2,300円から-400円）
- ・高校生：1,100円（現1,300円から-200円）
- ・小中学生：600円（現750円から-150円）

販売方法：

- ・福田美術館、嵯峨嵐山文華館の受付で、鑑賞当日に二館共通券を購入

※福田美術館のオンラインチケット購入者にはオンライン割引が適用されているため、入館時に嵯峨嵐山文華館の値引券をお渡しすることで、キャンペーン価格にて二館を利用できます。

文華館のオンラインチケット購入者は、文華館受付にて差額を支払うことで、キャンペーン価格で共通券を購入可能です。

※既に両館分のオンラインチケットを購入している場合は、本キャンペーンの適用外となります。  
本件に関する一般のお客様からのお問合せは、以下で受け付けています。  
福田美術館： info@fukuda-art-museum.jp

## 開催中の展覧会について

### 「開館5周年記念 京都の嵐山に舞い降りた奇跡!! 伊藤若冲の激レアな巻物が世界初公開されるってマジ?!」 (略称：若冲激レア展)

「若冲激レア展」では、今から約240年前に 70代の若冲が描いた《果蔬図巻》を、彼が生まれ育った京都で世界で初めて一般公開します。さらに今年5月に福田コレクションに加わったばかりの、若冲と大典が舟で京から大阪へ下る間に見た風景を版画で表現した巻物《乗興舟》も公開します。

若冲愛好家はもちろん、美術に詳しくない方にとっても、若冲の魅力を存分に感じ取れる特別な機会です。

|       |                                                                                                                         |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 展覧会期間 | 2024年10月12日（土）～2025年1月19日（日）                                                                                            |
| 開館時間  | 10:00～17:00（最終入館16:30）                                                                                                  |
| 休館日   | ※12月3日（火）に一部の屏風において、<br>右隻・左隻の入れ替えを実施<br>12月3日（火）、12月30日（月）～1月1日（水）                                                     |
| URL   | <a href="https://fukuda-art-museum.jp/exhibition/202407053434">https://fukuda-art-museum.jp/exhibition/202407053434</a> |



### HaikuとHaiga — 芭蕉と蕪村、二人のカリスマ —

俳句といえば、松尾芭蕉、そして与謝蕪村という二人の名前が浮かんでくるのではないのでしょうか。本展では松尾芭蕉直筆の《ふる池や》短冊や、同じく芭蕉が自ら筆をとって描いた絵が添えられた《野ざらし紀行図巻》、蕪村が直筆で俳句と絵を描いた《いかだしの》等、俳句そして俳画の秀作をご紹介します。二人のカリスマゆかりの嵐山にふさわしい展覧会です。

|       |                                                                                                                 |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 展覧会期間 | 2024年10月12日（土）～2025年1月19日（日）                                                                                    |
| 開館時間  | 10:00～17:00（最終入館16:30）                                                                                          |
| 休館日   | 12月3日（火）展示箇所の一部変更<br>12月30日（月）～1月1日（水）                                                                          |
| URL   | <a href="https://www.samac.jp/exhibition/detail.php?id=56">https://www.samac.jp/exhibition/detail.php?id=56</a> |



### プレスリリースに関するお問合せ

福田美術館広報事務局（共同ピーアール内）  
担当：田中真衣、樋口  
TEL：03-6264-2045  
Email：fukudamuseum-pr@kyodo-pr.co.jp

### 一般の方からのお問合せ

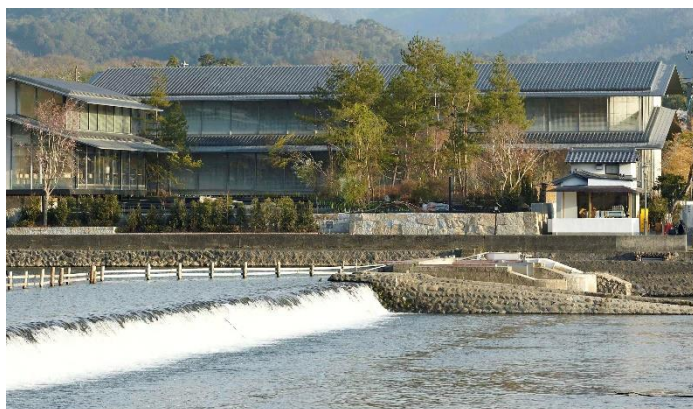
福田美術館  
Email：info@fukuda-art-museum.jp

## 福田美術館について

### 美しい自然と日本美術の融和。日本文化の新たな発信拠点として

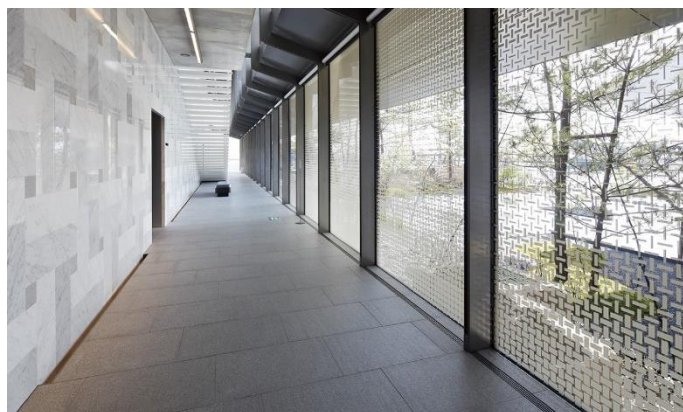
京都・嵯峨嵐山は古来歌枕でもある場所で、多くの貴族や文化人に愛され芸術家たちが優れた作品を生み出す源泉となってきました。オーナーである福田吉孝は京都に生まれ育ち、そこで事業を興し、今日まで続けてきたことに対し、地元の方々のご支援とこの地に恩返しをしたいという想いから、2019年10月、美術館の設立に至りました。今や日本国内だけでなく、世界中から多くの人を訪れる観光地である嵐山。その中でも渡月橋を望む大堰川（桂川）沿いの景勝地に位置し、四季折々でそれぞれに変化する風景は1000年変わらず人々を魅了してきました。この美しい自然と共に日本美術の名品を愉しんでいただくことで、嵐山が世界有数の文化発信地となることを願います。

**福田美術館は2024年10月で開館5周年を迎えました。**今後も「100年続く美術館」をコンセプトに、現代まで受け継がれてきた日本文化を次世代に伝え、さらなる発展へとつなぐ美術館を目指します。



### 嵐山にふさわしい、未来へむけた日本建築の形

福田美術館の建築を手掛けた安田幸一氏は、「蔵」をイメージした展示室や外の自然とのつながりを感じられる「縁側」のような廊下など、伝統的な京町家のエッセンスを踏まえつつ、これから100年のスタンダードとなるような新しい日本建築を目指しました。また、庭には大堰川に連なる水鏡のごとく嵐山を映し出す水盤が設けられており、渡月橋が最も美しく一望できるカフェからは最高の眺めを味わうことができます。





## 嵯峨嵐山文華館について

### 百人一首の歴史と日本画の粋を伝えるミュージアム

1000年以上も前から歌枕として詠まれ、愛されてきた嵯峨嵐山の風景。当館はこの地で誕生したと伝えられる百人一首の歴史やその魅力と、日本画の粋を伝えるミュージアムです。石段を上がり、冠木門をくぐって足を踏み入れると、春はしだれ桜、初夏はサツキツツジ、秋は紅葉、冬は冠雪と、四季の美しさを楽しめる石庭。百人一首ゆかりの小倉山を背にし、大堰川を借景として取り込む2階からの眺めは、まさに日本画の世界のようです。



1階の常設展示では100体の歌仙人形（フィギュア）と歌の英訳が並び、藤原定家によって百人一首が撰ばれた時から昨今人気の競技かるたに至るまでの変遷をご紹介します。また120畳の広々とした2階の畳ギャラリーでは、じっくり座って自由に鑑賞することも可能。石庭を望むテラスにはカフェスペースが設けられており、景色を楽しみながらお寛ぎいただけます。

